

第5次地域管理経営計画書

第5次国有林野施業実施計画書

(日野川森林計画区)

(第一次変更計画書)

計画期間 $\left[\begin{array}{l} \text{自 平成27年4月 1日} \\ \text{至 平成32年3月31日} \end{array} \right]$

(変更年月 平成28年3月)

近畿中国森林管理局

目 次

〔地域管理経営計画書〕

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1
2 国有林野の維持及び保存に関する事項	2
(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項	2

〔国有林野施業実施計画書〕

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごと の伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	3
(4) 伐採総量	3
(5) 更新総量	4
5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	5
(1) 保護林の名称及び区域	5

第5次地域管理経営計画書（日野川森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程第6条第9項に基づき地域管理経営計画の一部を次のように変更します。
なお、本変更計画は、平成28年4月1日から効力を有します。

【変更理由】

伐採計画は、「ふれあいの森」において、森林整備の要望があったことを踏まえ、主伐の計画を変更するとともに、更新総量について変更します。

また、保護林内で貸付している道路への落石等の対策のため、保護林内の貸付地等の売払を行ったことから関係項目を変更します。

【変更する内容】

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

イ 主要事業の総量

本計画期間において、機能類型区分に応じた施業管理を行うために必要な伐採、更新、保育、林道の事業総量は以下のとおりです。

(ア) 伐採総量

(単位：材積 m³、面積 ha)

区 分	主 伐	間 伐	計
山地災害防止タイプ	—	—	—
自然維持タイプ	—	(35) 3,492	3,492
森林空間利用タイプ	<u>1,474</u>	(26) 3,011	<u>4,485</u>
快適環境形成タイプ	—	—	—
水源涵養タイプ	1,901	(387) 38,992	40,893
計	<u>3,375</u>	(448) 45,495	[2,000] <u>48,870</u>

注：1 () は、間伐面積

2 [] は、搬出等に伴う支障木、マツクイムシの被害木等の伐採箇所があらかじめ特定できない臨時的な伐採量で外書

(イ) 更新総量

(単位：ha)

区 分	人工造林	天然更新	計
山地災害防止タイプ	—	—	—
自然維持タイプ	—	—	—
森林空間利用タイプ	—	<u>13</u>	<u>13</u>
快適環境形成タイプ	—	—	—
水源涵養タイプ	7	—	7
計	7	<u>13</u>	<u>20</u>

2 国有林野の維持及び保存に関する事項

(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項

ア 保護林

(単位：ha)

区 分	箇所数	面積
森林生態系保護地域	1	<u>2,010</u>

第5次国有林野施業実施計画（日野川森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更します。

なお、本変更計画は、平成28年4月1日から効力を有します。

【変更理由】

伐採計画は、「ふれあいの森」において、森林整備の要望があったことを踏まえ、主伐の計画を変更するとともに、更新総量について変更します。

また、保護林内で貸付している道路への落石等の対策のため、保護林内の貸付地等の売払を行ったことから関係項目を変更します。

【変更する内容】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(4) 伐採総量

機能類型等別の伐採量は次のとおりです。（地域管理経営計画の1の(4)のイの(ア)）

なお、本表は、伐採造林計画簿で定める箇所ごとの伐採量を取りまとめたものです。

（単位：材積 m³、面積 ha）

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	—	—				
自然維持タイプ	—	(34.71) 3,492	3,492				
森林空間利用タイプ	1,474	(26.22) 3,011	4,485				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水源涵養タイプ	天 然 林	—	—				
	複 層 林	—	—				
	長 伐 期	—	22,320	22,320			
	分散伐区	1,901	16,520	18,421			
	施業群設定外	—	152	152			
	小 計	(387.24) 38,992	40,893				
合 計	3,375	(448.17) 45,495	48,870	2,000	50,870	—	50,870
年 平 均	749	(89.63) 9,099	9,848	400	10,248	—	10,248

注：「間伐」欄の()は、間伐面積

(再掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m³、面積 ha)

市町村名	林地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
大山町	—	(46.48) 4,887	4,887	/	/	/	/
伯耆町	—	(59.82) 6,131	6,131				
日野町	545	(4.84) 438	983				
日南町	1,356	(315.59) 31,553	32,909				
江府町	<u>1,474</u>	(21.44) 2,486	<u>3,960</u>				
合計	<u>3,375</u>	(448.17) 45,495	<u>48,870</u>	2,000	<u>50,870</u>	—	<u>50,870</u>

注：1 市町村の内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

2 「間伐」欄の()は、間伐面積

(5) 更新総量

機能類型等別の更新量は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(4)のイの(i))

なお、本表は伐採造林計画簿で定める更新箇所ごとの更新量を取りまとめたものです。

(単位：ha)

区分	人工造林			天然更新			合計
	単層林造成	複層林造成	計	天然下種第1類	ぼう芽	計	
山地災害防止タイプ	—	—	—	—	—	—	—
自然維持タイプ	—	—	—	—	—	—	—
森林空間利用タイプ	—	—	—	<u>13.00</u>	—	—	<u>13.00</u>
快適環境形成タイプ	—	—	—	—	—	—	—
水源涵養タイプ	6.88	—	6.88	—	—	—	6.88
合計	6.88	—	6.88	<u>13.00</u>	—	—	<u>19.88</u>

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

保護林の箇所別の詳細は次のとおりです。(地域管理経営計画の2の(3)のア)

(単位：ha)

区 分	名 称	既設 ・ 新設	面 積	位置 (国有林・林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	大山森林生態系保護地域 (保全地区)	既設	657.72 (1,196.73)	附属別冊 「大山生態系保護林地域計画」によります。	
	〃 (保全利用地区)	〃	<u>1,351.85</u> <u>(1,993.86)</u>		
計			<u>2,009.57</u> <u>(3,190.59)</u>		

注：() は大山森林生態系保護地域の全体面積です。